

社会奉仕功勞 ちいきこくさいこうりゅう 地域国際交流 まほうのランプ



写真：小学生と留学生の交流企画（新井 由利子 代表より提供）

長年に亘り、
外国籍の方への生活支援
や国際交流活動を行っている団体。
バザーやガレージセールを開催するほ
か、食文化を通じた交流の企画や日
本の伝統文化の体験企画、市の国際
交流事業への協力等を行い、市内在
住・在学の外国人を中心とした地
域の人たちの福祉向上に
貢献している。

— 具体的な活動内容について教えてください

（新井代表）主に留学生を中心とした外国籍の方
向けの生活支援や文化交流活動を企画していま
す。生活支援としては、生活相談をはじめ、生活
用品のガレージセールや自転車のレンタル等の物
品の支援を行っています。文化交流としては、国際
茶会や新春懇談会（成人式）の企画、書道の文化
体験の企画等を実施しています。また、市のグロ
ーバル人材育成事業の協力等も行っていきます。

— 新井会長が活動を始めたきっかけは何です
か。

私の娘が市の海外派遣事業でアメリカへ留学し
た際、現地の人に優しく接してもらえた、このこ
とでした。この事を嬉しそうに話す娘を見て、日
本でも海外から来られた方に同じように感じて
もらいたいと思ったことがきっかけになりました。
また、当時の留学生は生活苦である事が多く、
支援が必要だと考えていたこともありです。

— 宗教の違いについて気を付けていることはあり
ますか。

ある宗教について個別に特別扱いすることはせ
ず、多様な宗教の方が一か所に集まったときに、
それぞれが自分らしく過ごせるような配慮を考
えています。例えば、肉を食すことを禁じられて
いる宗教のために肉料理を出さないのではなく、
料理ごとで使用している食材がわかる印をつける
のです。こうすることで、各々が自分の信仰や価

値観にあった選択ができるようにしています。

— 日本人と外国籍の方との価値観の違いで面
白い話があれば教えてください。

夏に、ホテルを見て涼を取る企画を提案した
ら、ドイツ国籍の方に「虫を見ることの何が涼な
のか理解できない」と回答されたことがありま
す。ドイツ国籍の方特有のサイエンティフィック
な思考感覚をまざまざ感じ、面白いと思いまし
た。

— 逆に、価値観の違いで困惑した経験はありま
すか。

負の感情で来日する方がいると知ったときは、
ショックを受けました。
ある国籍の方は、日本という国を憎むあまり
に来日したというのです。この事実、その方が
日本での生活を経て負の気持ちが薄れていった
頃に打ち明けてくれたのですが、困惑したこと
は事実です。

— 長年の活動を経て、国際感覚の変化はあり
ましたか。

当時生活苦であったアジアからの留学生の有
り方は大きく変化しました。今の時代のアジア
からの留学生は、生活に苦労する様子は全然
ありません。中国は報道から想定できましたが、
近年とりわけ経済が急成長しているベトナムか
ら来た方が日本で裕福な生活をしている様子

を知り、時代の変化を強く感じました。

— 長年の活動で特に思い入れのある企画は
ありますか。

市内の小学生（有志）とバリオ市の小学
生とがテレビ電話を介して交流する企画は、
思い入れがあります。当会の活動に参加し
たバリオ市の留学生が、バリオに戻って親御さ
んに当会の活動について話したことがきっか
けとなり、最終的にはバリオ市の行政の協力
までいただいて実現に至りました。お互いの
自己紹介をするだけでほとんどの時間を費
やしてしまう結果でしたが、他国に生きる
人の存在にリアリティを持つたまたない機
会となったと思っています。

— 最後に一言お願いいたします。

時代の潮流に沿って、会の目指すべき方
向や目的も変わっていきます。この会も、川
の流れるように自然に次の世代へ受け継が
れていくことを望んでいます。
ただ、これからも変わらずにありたいこと
は、この会が外国籍の方たちの故郷となる
ように、国立市に根を張ってほしいというこ
とです。日本での生活を終えた外国籍の方
は、世界中に飛び立っていきます。その後時
が経ち、彼らが日本を再訪したとき、この
場所に来れば一緒に懐かしむことができる
そんな場所でありたいのです。

※本記事は、平成 29 年 2 月 17 日に取材した内容を掲載しています。